

課題名：新たな担い手の育成確保

【評価できる点】

- ・一人では無理だが、組織にすることで向上心がめばえ、次のステップに繋がっている。
- ・対象者が限られている中での地道な取り組みに感心。
- ・Happy あぐり講座を H25 年から続けてこられた事も良かったですが、若手女性のニーズに合った活動内容と時期は成果に表れてくると思う。
- ・メンバー同士でのコラボ商品など、女性ならではのアイデア。
- ・若手女性に参加を促す中、コメントを入れるなどの工夫によって、人とのつながりを生み出した事が良かった。
- ・Happy あぐり講座を重ねる事により参加者が増え、女性農業者同士のネットワークが広がるのが良い。
- ・若手農業者のグループ活動は、人の発掘から集まってもらう事が大変なところですが、工夫して成果を上げていると思う。
- ・課題の分析・ニーズの把握が適切である。
- ・若手女性農業者の育成は、農業・農村の担い手として重要な課題であり、特に、農業後継者のパートナーの育成は、次代の地域農業の担い手として位置づけ、地域全体で取り組んでいくことが必要である。シリーズものの講座やマルシェを開催して組織づくりを行い、若手女性農業者のネットワークづくりを行ったことは高く評価できる。
- ・「あぐりいいな」の活動が末永く続くよう支援願います。
- ・若手農業者のグループ活動は、人の発掘から集まってもらう事が大変なところですが、工夫して成果を上げていると思う。
- ・活動内容も、マルシェ、加工品の開発、SNS の使用など、女性が求めている部分を押さえた活動内容で、魅力のあるものだったように思う。

【改善・強化に向けた検討事項（主な意見と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

- ・担い手の育成・確保事業の中の一課題を切り出しての検討会のようなのだが、他の課題と連動して検討しないと事業評価にならないと思う。
- ・新規就農者への支援も回数を増やして欲しい。

2 活動内容に関すること

- ・マルシェをはじめとした事業化に期待している。
- ・限られた女性農業者だけを対象とするのではなく、なるべく多くの者に声を掛けてもらい、支援対象である若手女性農業者の掘り起こしに力を入れてもらいたい。
- ・新たな女性農業者が今後増える見込みはどうか。
- ・メンバー同士でのコラボ商品開発が今後楽しみである。
- ・若手女性農業者のパワーは、新鮮な発想と行動力で、今後に期待したい。
- ・若手女性の組織化を進めるためには、現在普及が取り組んでいるように、農産物加工の研修とか、マルシェの開催とか、興味のある分野から入るのが良いと思うが、最終的には地域の中で活躍できる人材を育成するんだという視点で、更なる支援・啓発をお願いする。
- ・農業女性が地域に根づき、輝いて活動出来ますようこれからもサポートを続けていきたいと思う。